

## 駅係員による案内放送の手間を削減し、旅客サービス向上を図る。



### 機能

#### 1. 各種自動案内放送機能

- 遅延案内放送
- 着番変更案内放送
- 停車駅案内放送
- 出発案内放送
- 接近1案内放送(接近予告)
- 乗車口案内放送
- 到着案内放送
- 運休案内放送
- 接近2案内放送
- 在線案内放送
- 乗換案内放送
- 行先変更案内
- スポット放送

#### 2. 非常接近放送

- 自動放送異常時は自動的に非常接近モードに切り替わり、簡易的な接近放送が可能です。

#### 3. 連動信号の伝送

- 放送に必要な連動信号(場内信号機、在線、出発信号、軌道など)をシーケンサ盤にて集約し、本体までシリアル伝送します。

#### 4. TID情報入力

- TID情報より列車番号を取得し列車追跡を行います。また遅れなどの情報を取得します。

#### 5. 発車標制御機能

- 発車標制御装置(当社範囲外)へ列車の出発などの制御タイミングや遅れ時間を送ることが可能です。

#### 6. 動態センサにて列車検知

- 動態センサをホームに設置し、列車の進入・停車・出発を判断し制御タイミングを取得します。

#### 7. 列車ダイヤ操作

- 本体とは別に設置されたコンソールにて列車のダイヤ操作を行います。日々ダイヤ以外に1年間の基本ダイヤのデータも編集できます。

#### 8. 運行管理端末より基本ダイヤを取得

- 運行管理端末から基本ダイヤの生成が可能です。

#### 9. Max.8回線のアンプ出力

- 1回線あたり120Wのアンプ出力で8回線まで放送回線を設けられます。待合室やコンコースなどホーム外の回線として使用可能です。ホーム外の回線にも放送する種別を選択し自動放送を放送できます。

#### 10. 手動マイク放送機能

- リモコン操作器を3台、ワイヤレス受信機を5台まで接続可能で其々から手動マイク放送が可能。

#### 11. 発車警告音機能

- 発車警告音の鳴動機能がありますので発車警告スイッチを設けることで設定回線に鳴動できます。

### システム概要

- 本システムは各種連動条件信号とTID情報、列車ダイヤを基に旅客案内を自動で行うシステムです。
- 装置の機器構成は、連動信号を受け本体へ伝送を行うシーケンサ盤、ダイヤ操作を行うコンソール、自動放送制御のメイン部分である自動放送装置、各種音声放送の拡声を行う高声電話機、手動マイク放送の操作を行うリモコン操作器、列車の停車・出発を検知する動態センサ、装置瞬停保護用の無停電電源装置で構成されます。

### システム概要例

